



Cisco Unified MeetingPlace Express のインストール

Cisco Unified MeetingPlace Express Release 2.0 を正しくインストールするには、次の各項で説明するすべての手順を、記載されている順序で実行します。

- [Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティング システムのインストール、2-2 ページ](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの設定、2-4 ページ](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションのインストール、2-6 ページ](#)

Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティング システムのインストール

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express をインストールするサーバの DVD-ROM ドライブに、Cisco Unified MeetingPlace Express DVD を挿入します。



(注) Cisco Unified MeetingPlace Express をインストールするサーバは、インストール時に再フォーマットされます。フォーマットされていないサーバを使用することをお勧めします。

ステップ 2 コンピュータを DVD から起動します。

ステップ 3 有効なプラットフォームであるかどうかのチェックが行われます。プラットフォームが無効な場合は、このチェックの結果を確認する必要があります。

- プラットフォームが無効な場合、エラー メッセージが表示されてインストールは中止され、ログに情報が表示されます。
- プラットフォームが有効な場合、インストールが続行されます。

ステップ 4 既存のオペレーティング システムがあるかどうかのチェックが行われます。既存のオペレーティング システムが存在する場合は、このチェックの結果を確認する必要があります。この場合、上書きするかどうかを尋ねられます。

- 既存のオペレーティング システムの上書きを選択しなかった場合、インストールは中止され、DVD がイジェクトされます。
- インストールの続行を選択した場合、既存のオペレーティング システムは上書きされ、既存のデータはすべて失われます。30 秒以内に続行を選択します。続行を選択しないと、インストールは中止され、DVD がイジェクトされます。
- システムにオペレーティング システムがインストールされていない場合、インストールが続行されます。

ステップ 5 ハード ドライブ、RAID、および BIOS を検査するシステム チェックが行われます。

- システムの再設定が一切必要ない場合、各コンポーネント名の横に緑色のチェック マークが表示され、インストールが続行されます。
- システムに何らかの再設定が必要な場合、該当するコンポーネントの横に緑色の円形矢印が 2 つ表示され、15 秒後に自動的に再起動します。この 15 秒間に任意のキーを押すとチェックが一時停止し、メッセージを読むことができます。一時停止した後は、**[Restart]** をクリックして続行してください。再起動後、中断されたところからインストールが続行されます。

システム設定によっては 3 回までリポートされる場合があります。この処理は自動的に行われます。

ステップ 6 引き続きメディア チェック画面に進みます。メディア ディスクをチェックするには、**[Check]** をクリックします。このメディア チェックを実行することをお勧めします。



(注) このステップは、デフォルトではスキップされます。

メディアチェックが失敗した場合、インストールを中止または続行できます。インストールを続行すると、エラーになる可能性があります。メディアチェックには最長 10 分かかります。

ステップ 7 Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティングシステムが DVD からロードされ、インストールされます。ロードには 10 ～ 15 分程度かかります。

Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティングシステムのインストールが完了すると、DVD-ROM ドライブから DVD がイジェクトされます。インストールが完了したことを示すメッセージが表示されます。オペレーティングシステムのリリースノートへのリンクが表示されます。

ステップ 8 DVD を DVD-ROM ドライブにセットし、ドライブは閉じないでおきます。

ステップ 9 Enter キーを押すか [Exit] をクリックして、コンピュータを再起動します。

Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの設定



(注)

ダイアログボックスが閉じたように見えますが、通常はバックグラウンドにあります。ダイアログボックスに切り替えるには、Alt+Escape キーを押します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express システムで [Welcome] ページが表示され、システムを使用する前に必要となるいくつかの手順を示す初期メッセージが表示されます。[Next] をクリックします。

ステップ 2 [Network Setup] ページが表示されます。次の各フィールドに値を入力します。DNS 情報の [Secondary] フィールドを除き、すべてのフィールドが必須です。



注意

必ず正しいネットワーク設定情報を入力してください。インストールが完了した後で設定を変更するには、**net** コマンドを使用する必要があります。**net** コマンドの使用方法の詳細については、『*Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーションメンテナンスガイド Release 2.0*』を参照してください。

- DNS 情報 :
 - [Primary]
 - [Secondary]
 - [Domain Name]
- イーサネット ポート 1 (デバイス eth0) HTTP および音声アクセス用 :
 - [Host Name]
 - [IP Address]
 - [Subnet Mask]
 - [Gateway]
- イーサネット ポート 2 (デバイス eth1) : RTMP (Web 会議) アクセス用 :
 - [Host Name]
 - [IP Address]
 - [Subnet Mask]
 - [Gateway]
- [Auto Negotiation]
- [Speed (Full Duplex)]
- [Mail Server]

これらのパラメータの詳細については、「ワークシート 2-1 : Release 2.0 用の Cisco Unified MeetingPlace Express のインストールパラメータ」、1-4 ページを参照してください。

ステップ 3 [Next] をクリックします。

ステップ 4 [Timezone] ページで、次の手順を実行してシステムのタイムゾーンを設定します。

- a. タイムゾーンのリストをスクロールします。

- b. システムが常駐する場所を示すタイムゾーンを選択します。
- c. [System clock uses UTC] の横にあるチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。
- d. [Next] をクリックします。

ステップ 5 [Date and Time] ページで、次の手順を実行してシステムの日付と時刻を設定します。

- a. [Date] ボックスで、本日の日付を選択します。左右の矢印をクリックし、該当する月または年に移動します。
- b. [Time] ボックスで、時、分、秒を現在の時刻に設定します。
- c. (オプション) NTP (ネットワーク タイム プロトコル) を有効にします。この操作により、コンピュータが NTP を使用してリモート タイムと時計を同期化します。このオプションの横にあるチェックボックスをクリックして、NTP を有効にします。



注意 必ず適切な日付と時刻を入力してください。後でサーバの日付と時刻を変更する必要がある場合、Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティング システムとアプリケーションを再インストールする必要があります。

- d. [Next] をクリックします。

トラブルシューティング

- 途中でシステムがハングした場合、[ステップ 6](#) のメディア チェックをスキップしたことが原因である可能性があります。メディア チェックをスキップした場合、インストールを中止してやり直してください。今度はメディア チェックをスキップしないでください。

Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションのインストール

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Application DVD] ページが表示されます。Cisco Unified MeetingPlace Express DVD が挿入されている DVD-ROM ドライブを閉じます。
- ステップ 2** [Install...] をクリックします。
- ステップ 3** インストーラがロードされるまで、数分待ちます。
- ステップ 4** Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラにより初期メッセージが表示されます。メッセージを読み、[Next] をクリックします。
- ステップ 5** Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラによりライセンス契約が表示されます。ライセンス契約を読み、[I accept the terms of the License Agreement] を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 6** [Choose Server Type] ページが表示されます。[Primary Server (Default)] のデフォルト値が自動的に選択されます。[Next] をクリックします。



(注) Segmented Meeting Access システムを使用するためにセカンダリ サーバをインストールしている場合は、[Secondary (External) Server] を選択します。それ以外の場合は、このオプションは選択しないでください。

- ステップ 7** [Review Current eth0 Network Settings] ページが表示され、「Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの設定」、2-4 ページのステップ 2 で入力した eth0 の値が表示されます。値を見直して適切であることを確認します。
- 値が不適切な場合、適切な値を入力して [Next] をクリックします。
 - 値が適切な場合、[Next] をクリックします。



(注) このページで値を変更すると、前回入力した値は上書きされます。

- ステップ 8** [Review Current eth1 Network Settings] ページが表示され、「Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの設定」、2-4 ページのステップ 2 で入力した eth1 の値が表示されます。値を見直して適切であることを確認します。
- 値が不適切な場合、適切な値を入力して [Next] をクリックします。
 - 値が適切な場合、[Next] をクリックします。



(注) このページで値を変更すると、前回入力した値は上書きされます。

ステップ 9 [Review Current DNS Network Settings] ページが表示され、「Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの設定」、2-4 ページのステップ 2 で入力した DNS の値が表示されます。値を見直して適切であることを確認します。

- 値が不適切な場合、適切な値を入力して **[Next]** をクリックします。
- 値が適切な場合、**[Next]** をクリックします。



(注) このページで値を変更すると、前回入力した値は上書きされます。

ステップ 10 [Review New Network Settings] ページが表示され、「Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの設定」、2-4 ページのステップ 2 で入力したネットワークのすべての値が表示されます。値を見直して適切であることを確認します。値が適切な場合、**[Next]** をクリックします。

- 値が不適切な場合、**[Previous]** をクリックして前のページに戻り、値を変更します。
- 値が適切な場合、**[Next]** をクリックします。



(注) このページで値を変更すると、前回入力した値は上書きされます。

ステップ 11 [Configure NIC Settings] ページが表示されます。

- システムで自動ネゴシエーションが使用されている場合、**[On]** をクリックします。自動的に [ステップ 13](#) に進みます。
- システムで自動ネゴシエーションが使用されていない場合、**[Off]** をクリックし、[ステップ 12](#) に進みます。



(注) このページで値を変更すると、前回入力した値は上書きされます。

ステップ 12 システムで自動ネゴシエーションが使用されていない場合、**[Speed (Full Duplex)]** と **[Duplex mode]** の値を設定する必要があります。システムの速度とデュプレックス モードを選択します。**[Next]** をクリックします。



(注) このページで値を変更すると、前回入力した値は上書きされます。



(注) ネットワークに設定した値を確認します。インストールが完了した後で設定を変更するには、**net** コマンドを使用する必要があります。**net** コマンドの使用方法の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド Release 2.0』を参照してください。

ステップ 13 Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラから、*root* と呼ばれるユーザのパスワードを作成するよう求められます。パスワードは 8 文字以上で、印刷可能な ASCII 文字を使用できます。パスワードは、大文字小文字を区別します。パスワードを入力し、次にパスワードの確認を行います。**[Next]** をクリックします。

ステップ 14 Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラから、*mpxadmin* と呼ばれるユーザのパスワードを作成するよう求められます。パスワードは 8 文字以上で、印刷可能な ASCII 文字を使用できます。パスワードは、大文字小文字を区別します。パスワードを入力し、次にパスワードの確認を行います。**[Next]** をクリックします。

ステップ 15 インストール前の主要項目を確認します。具体的には、製品名、インストール フォルダ、インストール先に必要なディスク スペースなどの値です。すべての値が適切な場合、**[Install]** をクリックします。

Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラにより、Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションがインストールされます。このインストールには 7～25 分かかります。

インストールが完了すると、Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラにより **[Install Complete]** ページが表示されます。



(注) **[Install Complete]** ページに、インストール中にエラーが発生したことを示すメッセージが表示された場合、アプリケーションをアンインストールしてコンピュータを再起動し、インストールを初めからやり直してください。オペレーティング システムとアプリケーションのインストールをやり直してもまだエラーが発生する場合、ログでエラー メッセージを確認します。ログは `MPX_<バージョン番号>_InstallLog.log` にあります。

ステップ 16 **[Done]** をクリックし、インストールを完了します。DVD-ROM ドライブから DVD がイジェクトされます。



(注) DVD-ROM ドライブから DVD がイジェクトされた後に、DVD を取り出します。

ステップ 17 DVD-ROM ドライブから Cisco Unified MeetingPlace Express DVD を取り出します。[ステップ 7](#)、[ステップ 8](#)、または[ステップ 9](#)でネットワーク設定を何も変更しなかった場合、**[Cisco Application DVD]** ページが表示されます。



(注) ネットワークの設定値を変更した場合、自動的にコンピュータが再起動します。再起動すると、Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティング システムのログイン ページが表示され、Cisco Unified MeetingPlace Express システムのインストールが完了します。[第 3 章「Cisco Unified MeetingPlace Express のテストとアンインストール」](#)に進みます。

ステップ 18 **[Next]** をクリックします。**[Finish Setup]** ページが表示されます。

ステップ 19 **[Finish]** をクリックします。Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティング システムのログイン ページが表示されます。